

時間割

※休憩時間は10分、昼休みは1時間(12:10～13:10)です。

【選択領域講習】講習名:⑨小学校教諭実践講座 (板橋キャンパス)

月日	時限		タイトル	概要	担当者	講座形式	認定方法	持ち物・連絡事項
8/19 (月)	1限	9:00～10:30	学習指導要領における算数科の内容のポイント	算数科における学習指導要領の変更点や内容の特筆するポイントについて具体的に解説する。また、これからの算数の授業の在り方を示す。	家田晴行	講義・演習	筆記試験	【持ち物】 ノート(罫線のあるもの)、 はさみ、のり
	2限	10:40～12:10	数学的な思考力・判断力・表現力について	算数の学習において必要な数学的な見方・考え方を中心に思考力や判断力・表現力をどのように身に付けさせるか、そのためにはどのような教材に対する見方や考え方が必要かを考える。				
	3限	13:10～14:40	授業における数学的活動の実際	算数の授業の中で行われる数学的活動は、教科書の記述にどのように表れ、具体的な指導の中でどのように工夫していけばよいのかについて考える。				
	4限	14:50～16:20	問題解決型の授業とノートの取らせ方	問題解決型の算数の授業をノートの形式と合わせて行うための方法を知るとともに、それをもとにした算数の模擬授業を実際に体験する。				
8/20 (火)	1限	9:00～10:30	話すこと・聞くことの指導法を考える	音声言語の指導法は難しいと言われている。話したことはすぐに消えてしまうと同時に、聞いているかどうかは外見だけでは判断しにくいからである。だが、音声言語の指導は重視しなければならないし、これからも必要性が増していくと考えられる。スピーチ、話し合い等について、実際の活動を通してよりよい指導法を追究したい。	阿部藤子	講義・演習	筆記試験	特になし
	2限	10:40～12:10	書くことの指導法を考える	書く力をつけることは大事なことであるが、実際の指導は難しいと言われている。書くことを嫌がる子がいる、指導に時間がかかる、評価が簡単ではない等の様々な理由があげられる。多様な書く力をつけるためには、どのように指導したらよいかを実践事例に基づいて追究したい。				
	3限	13:10～14:40	読むことの指導法(文学)を考える	文学教材を指導するうえで、教材研究法、単元の指導計画をどのようにするか、活動のバランスをどうとるか、書く活動をどのように取り入れるか等、様々な課題がある。文学教材を「読む」ということの意味もふまえて、基本的な指導法をより具体的、実践的に検討したい。				
	4限	14:50～16:20	読むことの指導法(説明文)を考える	説明的な文章を読む学習においては、教師が教材研究の段階から論の展開をおさえつつ批判的に読み、それを授業でも生かしていきたい。また、読むことと話し合うこと、書くことを有機的に結びつけて学習活動を組織していく方策を探り、実践事例にふれながら検討していく。				

時間割

※休憩時間は10分、昼休みは1時間(12:10～13:10)です。

【選択領域講習】講習名:⑨小学校教諭実践講座 (板橋キャンパス)

月日	時限		タイトル	概要	担当者	講座形式	認定方法	持ち物・連絡事項
8/21 (水)	1限	9:00～10:30	発達障害についての理解(特別支援教育)	通常の学級に在籍している発達障害の児童等への適切な指導や支援を行うためには、まず、それらの児童等の特性を的確に理解し、実態把握する必要がある。映像資料などを通して、特徴的な事例を紹介し、発達障害について理解し、個別の指導・支援のあり方や、学級経営上の工夫などについて考えていく。	半澤嘉博	講義・演習	筆記試験	特になし
	2限	10:40～12:10	発達障害の児童等への支援(特別支援教育)	発達障害の児童等への適切な指導や支援のためには、個別の教育支援計画や個別指導計画を作成していくことが大切である。映像資料などを通して、小学校における個別の教育支援計画の策定の仕方や、全教員の専門性の向上、関係機関や保護者との連携などの課題解決の方策を考えていく。				
	3限	13:10～14:40	外国語活動の理論と実践 I	外国語活動は今後、さらに低学年から正式に実施される見込みである。そのために、児童の発達段階や特性を考慮に入れた児童英語教授法や使用教材はどのようなものが望ましいか、意見を出し合い、共に考察していく。	酒井藤恵	講義・演習	筆記試験	特になし
	4限	14:50～16:20	外国語活動の理論と実践 II	クラスルーム・イングリッシュの使用法、新出構文の提示法、適切な発問の仕方、具体的事物の提示法、身体的活動を取り入れた指導法など、実践に必要な個々の指導技術をさらに磨き、小グループで活動を行い、プレゼンテーションを実施する。				

※認定方法は「筆記試験」「実技考査」「口頭試験」「その他(試験方法を明記)」のように履修認定は試験により行う。

※試験は本人確認ができる形態で行う。

***講習内容が変更になる場合もあります。ご了承ください。**